■ラミパッカー　保証書

この度は、フジプラ製品をお買い上げいただきありがとうございます。
本書は、保証期間内に取扱説明書や本体貼付けの注意書などに従って正常な使用状況で万一故障した場合に保証規定に基づき、無償修理をお約束するものです。
お買い上げの日から下記の保証期間内に万一故障した場合には、お買い上げの販売店に本書の必要事項をご記入の上、ラミネーター本体と一緒にお持ちください。
無償修理をさせていただきます。

保証規定

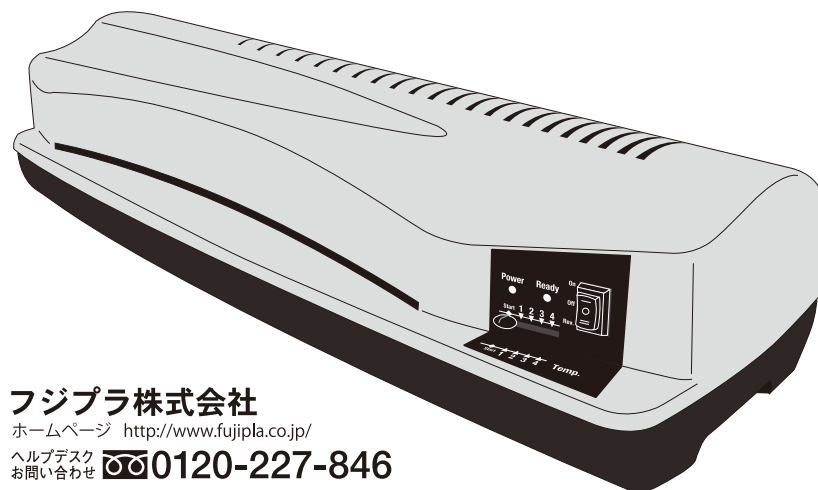
1. 保証期間内に取扱説明書や本体貼付けの注意書などに従って正常な使用状況で万一故障した場合に保証規定に基づき無償修理をいたします。保証書とラミネーター本体を販売店までお持ちください。
2. 次の場合は保証期間内でも有償修理となります。
   - ・使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障や損傷
   - ・お買い上げ後の輸送、移動や落下などによる故障や損傷
   - ・火災・地震・水害・落雷などの天災や公害・異常電圧などの外部要因による故障や損傷
   - ・ラミネーター本体の機能上で問題とならない損傷や外観上の変化
   - ・保証書の提示がない場合や保証書に必要事項の記載がない場合
   - ・保証書の内容が書き替えられた場合
3. ラミネート加工した用紙や写真などはいかなる場合にも保証の対象外となります。
4. 修理品の送料や持参に関わる交通費などはお客様のご負担になります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効となります。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. 本規定は、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お買上げ日		保証期間
年　　月　　日		お買上げ日より1年間
機種名（商品番号） ラミパッカー CLIVIA A3（LPD3223）		M/C No. ※ラミネーター本体の裏面に表示されています
お客様	ふりがな ご芳名（会社名）	
	ご住所　　〒（　　　－　　　）	
	電話（　　　）　　　－	
販売店	販売店名/住所	
	電話（　　　）　　　－　　　印	

FUJiPLA フジプラ株式会社
〒104-0041 東京都中央区新富1丁目18番8号 RBM築地スクエア

LPD3223
CLIVIA A3

取扱説明書（保証書）

この度は当社製品をお買上げいただきありがとうございました。
ご使用になる前に説明書をお読みいただき、
正しく安全にご使用ください。
また、この取扱説明書（保証書）は大切に保管してください。

フジプラ株式会社
ホームページ　http://www.fujipla.co.jp/
ヘルプデスク お問い合わせ　0120-227-846

もくじ

使用上のご注意 …… 1
はじめに …… 3
内容物の確認 …… 3
各部の名称と働き …… 3
ご使用方法 ラミネーターの準備 …… 5
ご使用方法 ラミネートフィルムの準備 …… 8
ご使用方法 ラミネート加工の方法 …… 12
お手入れ方法 …… 14
困ったときには …… 15
製品仕様 …… 17
保証書、保証規定 …… 19

■使用上のご注意

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために特に守っていただきたい事項を掲載しました。

■表示の意味

警　告　絶対に行ってはいけないことを掲載します。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を掲載しています。

注　意　この表示の注意事項を守らないと、使用者がケガまたは、物的損害を受けることが考えられる内容を表しています。

警　告

挿入口や排出口に手を入れないでください。

お子様に手の届く場所での使用はしないでください。

分解、修理、改造は絶対にしないでください。

ネクタイ、ネックレス、髪などを引き込まれないようにしてください。

使用中または使用後の本体上部は触らないでください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

電源は交流100V(50/60Hz)を使用してください。

タコ足配線や延長コードは使用しないでください。

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

電源コードやプラグを傷つけないでください。

移動やお手入れの時には電源プラグをコンセントから必ず外してください。

水をかけないでください。

本体や電源コードなどが異常な場合(煙や異臭発生)は直ちに使用を中止してください。

シンナーやベンジンでの清掃は行わないでください。

注　意

ラミネート加工直後の加工物は高温ですので注意して取り扱ってください。

本体を落としたり、ぶつけたりしないでください。

本体の上にものを置かないでください。

紙(写真を含む)専用のラミネーターです。他の目的には使用しないでください。

絶対に可燃物や軟化しやすいものは加工しないでください。

操作中は、ラミネーターの近くを離れないでください。

ご使用時は後方(排出口側)に十分なスペースを取り、水平な場所に設置してください。

冷暖房の近く、高温多湿な場所、ホコリなどの多い場所では使用しないでください。

電源プラグを抜く場合は必ずプラグ部分を持ってください。

コンセントの近くにものを置かないでください。

ラミネート加工をした用紙は元に戻すことが出来ません。有価証券や大切な用紙などの加工はしないでください。

連続してご使用の場合は1時間を目安に電源スイッチを切り30分以上、本体を休ませてください。

ご使用後は本体が十分に冷めてから収納してください。

ご使用後に押し入れなどのホコリの多い場所、高温多湿な場所で保管しないでください。

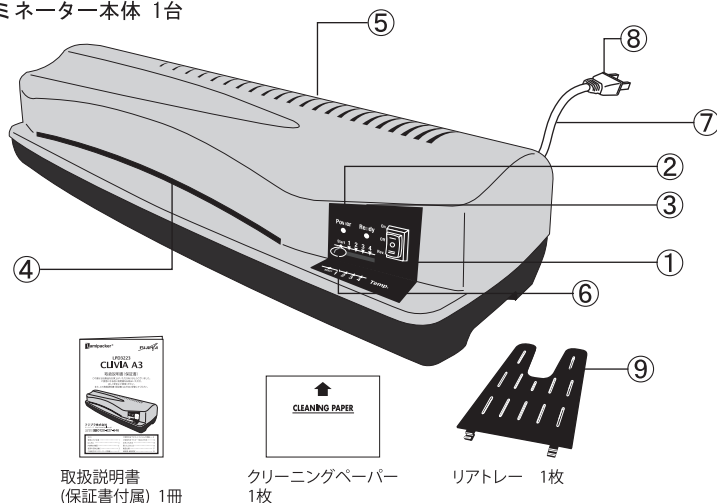
■はじめに

この度は、ラミパッカー CLIVIA A3 をお買い上げいただきありがとうございます。
ラミネーターを利用したラミネート加工は仕上がりが美しく、耐久性や耐水性に優れたものになります。
この取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくお使いください。

1 内容物の確認

取扱説明書
(保証書付属) 1冊

クリーニングペーパー
1枚

リアトレー　1枚

2 各部の名称と働き

①電源スイッチ/リバースボタン
電源の入切(ON、OFF)の切替をします。
Rev.(=)側に押すとローラーが逆転します。

②Powerランプ
赤く点灯して電源が入っていることを確認できます。

③Readyランプ
緑色に点灯して予熱準備の完了を知らせます。

④挿入口
準備したラミネートフィルムを挿入します。

⑤排出口
ラミネート加工が完了したものが排出されます。

⑥温度調節ツマミ
加工温度を調節します。

⑦電源コード

⑧電源プラグ

⑨リアトレー

■ラミネート加工をするには次の工程があります。

1 ラミネーターを準備する　P5～P7

↓

2 ラミネートフィルムを準備する　P8～P11

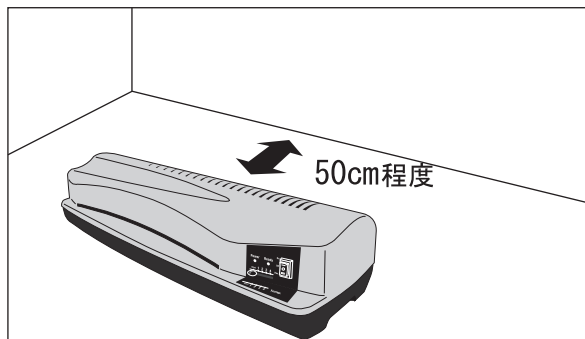
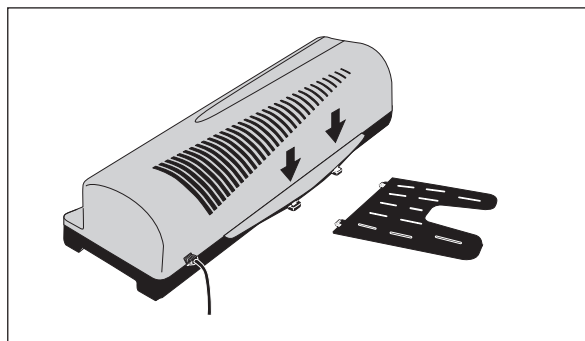
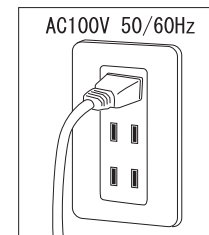
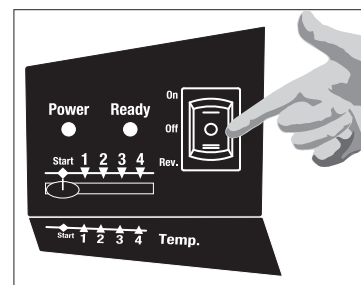
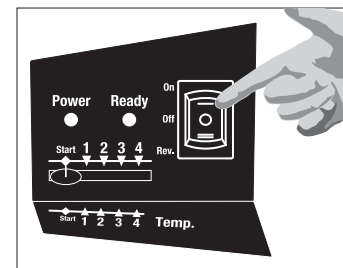
↓

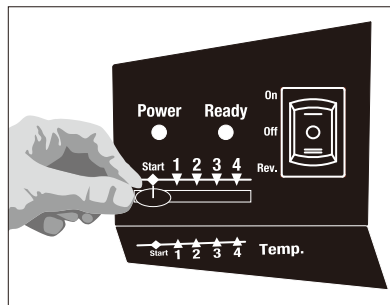
3 ラミネート加工をする　P12～P13

↓

お手入れ方法　P14

1 ラミネーターの準備

❶ラミネーター本体の後方(排出口側)にフィルムを排出できるスペース(50cm程度)を取り、水平な場所に設置してください。

❷ ラミネーター本体の後方にリアトレーを取り付けてください。(下図参照)

❸ 電源スイッチが「Off(○)」の位置になっていることを確認して、コンセント(AC100V)に電源プラグを差し込んでください。

❹ 電源スイッチを押して「On(–)」にしてください。
Powerランプ(赤色)が点灯し、予熱が始まります。
※予熱完了までの時間は次項の温度設定や室温によって変わります。

安全性を高めるため、電源を入れてから1時間後に、Readyランプが点滅を続け、自動的に加熱を中止したあともモーターは回転し続け、電源は入っています。
再度、ご使用になる場合は、電源スイッチを切り30分以上休ませてからご使用ください。

❹ 温度調節ツマミを操作して、参考加工表を目安に温度設定を行ってください。

参考加工表

ラミネートする用紙の厚さ	一般的な用紙の例	用紙の厚み μm	CLIVIA A3 ラミネートフィルムの厚さ 100ミクロン	150ミクロン
	薄手・薄口用紙 普通紙コピー用紙 プリンター用紙 カタログなど	80〜150	1〜2	3〜4
	厚手・厚口用紙 官製はがき、名刺用紙 プリンター用紙(厚口/厚手) プリンター用紙(写真用)	160〜270	2〜3	4

※"用紙の厚み"が不明の場合は、1又は2からラミネートテストを行ってください。
加工後にラミネートフィルムが白くくもった状態の場合には、高温方向に調整してください。

❺ 予熱が完了すると、Readyランプ(緑色)が点灯します。

2 ラミネートフィルムの準備

❻ ラミネートする用紙のサイズに合わせて、ラミネートフィルムをご用意ください。

ラミネートフィルムのサイズは用紙サイズより縦横それぞれ6〜10mm程度大きいサイズをお選びください。

❼ ラミネートする用紙をラミネートフィルムに、正しくはさんでください。

■ラミネートフィルムのご紹介

フジプラ　CPリーフ　100ミクロンタイプ

商　品　名	サイズ	商　品　名	サイズ
IDカードサイズ	57×82mm	A5サイズ	154×216mm
名刺サイズ	60×95mm	B5サイズ	188×263mm
定期券サイズ	65×95mm	A4サイズ	216×303mm
写真Lサイズ	95×135mm	A4よこサイズ	303×216mm
はがきA6サイズ	111×154mm	B4サイズ	263×370mm
B6サイズ	134×188mm	A3サイズ	303×426mm

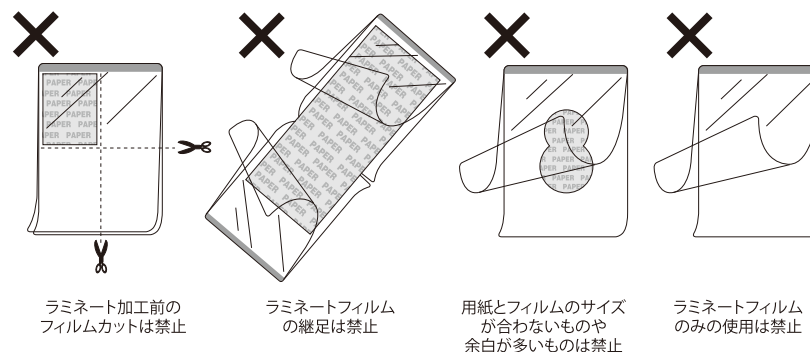
※その他のサイズ、厚みの製品は販売店にお問い合せください。

禁　止　ご注意ください。故障の原因になります。

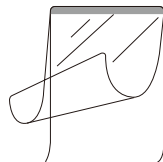
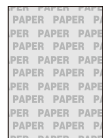
ラミネート加工前のフィルムカットは禁止

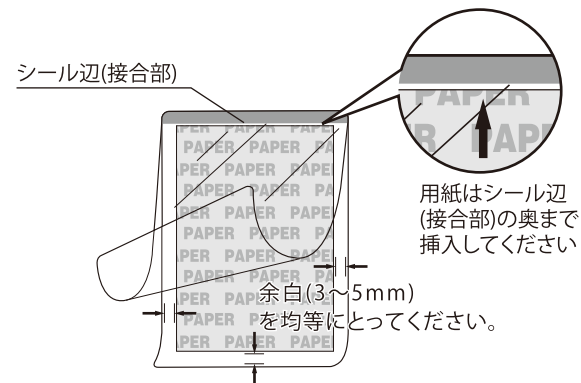
ラミネートフィルムの継足は禁止

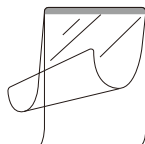
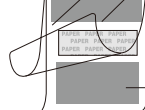
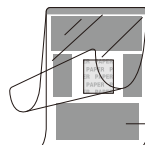
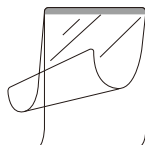
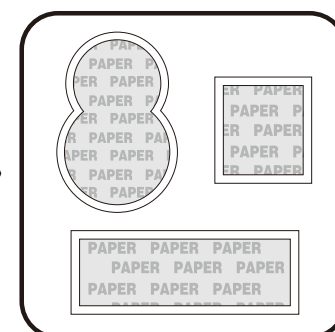
用紙とフィルムのサイズが合わないものや余白が多いものは禁止

ラミネートフィルムのみの使用は禁止

■ラミネートフィルムの選び方とはさみ方

●定型用紙の場合

定型用紙A4サイズ(210×297mm)の場合は、A 4 サイズ用(216×303mm)ラミネートフィルムをご使用ください。

A4定型用紙

A4サイズ用
ラミネートフィルム

●不定形用紙またはフィルムサイズが合わない場合

ラミネートする用紙　ラミネートフィルム

捨紙

用紙サイズに出来るだけ近いサイズのラミネートフィルムをご用意ください。
余白部分(用紙が入っていない部分)に捨紙を入れて余白が無いようにします。
※用紙と捨紙の間隔を5～10mm程度空けてください。
(捨紙は、ラミネートする用紙と厚みや素材が同じ不要な紙を利用してください。)
ラミネート加工後に用紙に合わせてハサミなどでカットしてください。

ラミネート加工後に
余白が3～5mmになるように
カットして仕上げてください

注　意 インクジェット方式プリンターでの印刷物(用紙)の場合。

インクジェット方式のプリンターで印刷した印刷物はインクに水分が多く含まれているため、十分に乾燥させてからラミネート加工を行うようにしてください。
乾燥していないうちにラミネート加工を行うとシワや変形した仕上がりになる場合があります。
6～24時間程度を目安に乾燥させてください。

注　意 次の用紙や印刷物はラミネートできません。

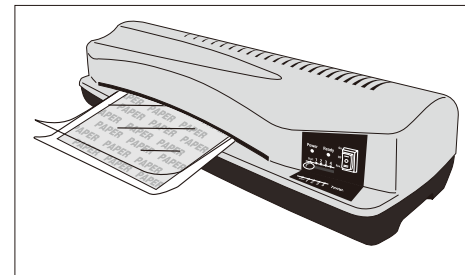
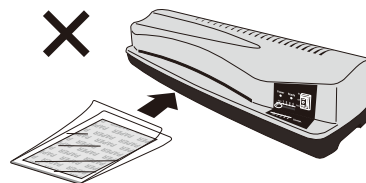
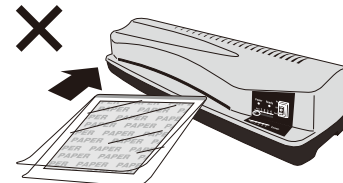
ラミネート加工をすると元には戻せません。次のものは加工しないでください。

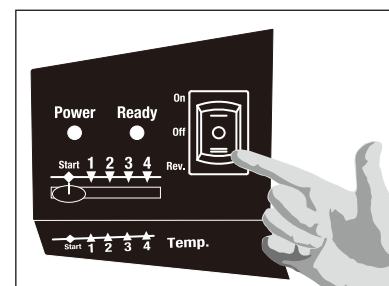
- 一枚しか無いような大切な用紙
- 有価証券や紙幣

次のものはラミネート加工ができません。

- ラミネートフィルムの厚みを含め0.6mm以上になる用紙
- 感熱紙や熱により変形、変色する用紙
- クレヨン、クレパスなどで書いた用紙
- 湾曲やシワなど平らではない用紙
- 水分を多く含んだ用紙
- 油分を含んだインクで印刷した用紙
- クレジットカードなどの磁気カード
- 紙以外のもの

3 ラミネート加工の方法

❽ ❼で準備したラミネートフィルムをシール辺(接合部)からラミネーターの挿入口にまっすぐに挿入します。

逆方向挿入禁止

斜め入れ禁止

リバースボタン

ラミネート加工を中止したい場合は、電源スイッチを「Rev.(=)」側に押してください。
逆転してフィルムを排出します。
※フィルムが排出されましたら、電源スイッチを「Off(○)」側に押して一度ローラーを停止させてください。

❾ラミネート加工されたフィルムが後方の排出口から排出されます。取り出して平らな場所で常温になるまで冷ましてください。

❿2枚目以降は❽～❾の作業を繰り返してください。加工中にReadyランプが消灯した場合は、再度点灯するまでしばらくお待ちください。

⓫作業が終わりましたら電源スイッチを「Off(○)」にし、電源プラグをコンセントより外してください。
また、定期的な清掃をお勧めします。(14ページ参照)

注　意	ご使用後は本体が十分に冷めてから収納してください。

注　意	押し入れなどのホコリの多い場所、高温多湿な場所に保管しないでください。

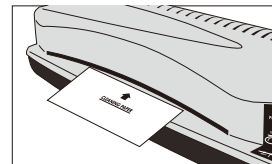
ラミネーターをより良い状態でお使いいただくため、次の方法で定期的に清掃を行ってください。

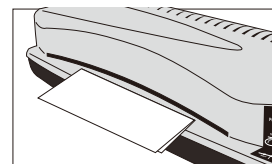
◇ゴムローラーの清掃方法

約30回の加工を目安に清掃を行ってください。

(1)Readyランプが点灯した状態で作業をしてください。
(2)付属のクリーニングペーパーをラミネーター本体の挿入口より挿入します。
(3)排出口よりクリーニングペーパーが出てきましたら取り出してください。

(4)(1)(2)の作業を挿入位置を左右方向に変えて5回以上繰り返してください。

※清掃は、使用頻度や使用状況により回数を調整してください。

クリーニングペーパーについて

クリーニングペーパーは、厚口用紙(カレンダー、カタログなど)で代用が出来ます。
代用品の場合は2つ折りにして、折り目方向から挿入してください。

注　意	クリーニングペーパーの代用品にコピー用紙など薄口用紙を使用しますと故障の原因になります。

◇本体の清掃方法

本体外側の汚れには水に薄めた中性洗剤を布につけて拭き取ってください。

注　意	電源スイッチを切り、電源コードをコンセントよりはずして本体が冷めてから作業してください。

警　告	シンナー、ベンジン、クレンザーなどで清掃を行わないでください。

■困ったときには

こんな時	確認してください	処置方法
電源スイッチを「On(ー)」側に押しても動かない	★電源プラグはコンセントに正しく入っていますか?	電源プラグをコンセントに正しく入れ、電源を入れ直してください。
Readyランプが点灯しない	★Powerランプは点灯していますか?	電源を入れ直してください。
	★クーラーや気温の低い屋外で使用していませんか?	予熱時間は設置場所の気温/室温や温度設定により変化しますのでしばらくお待ちください。
	★予熱中ではありませんか?	
	★Readyランプは点滅していませんか?	ヒーターオートオフ機能が作動しています。電源スイッチを切り、30分以上休ませてから、電源を入れ直してください。
ラミネート加工後にフィルムが波打つ、変形する	★温度設定は適正ですか?	温度設定が高い場合に現れる現象です。温度調節ツマミを低温方向に調節して5分以上待ってからラミネートしてください。改善されない場合は調整を繰り返してください。
	★インクジェット方式プリンターの印刷物ですか?	印刷物を6～24時間程度放置しインクを完全に乾燥させてからラミネートしてください。

こんな時	確認してください	処置方法
ラミネート加工後にフィルムが白く曇る	★Readyランプが点灯していますか?	Readyランプが点灯していない場合は予熱中のため点灯に変わるのを待って再度ラミネートしてください。
	★温度設定は適正ですか?	Readyランプが点灯している場合は、温度調節ツマミを高温方向に調節して点灯を待ってから再度ラミネートしてください。
	★Readyランプは点滅していますか?	ヒーターオートオフ機能が作動しています。電源スイッチを切り、30分以上休ませてから、電源を入れ直してください。
ラミネート加工後フィルムの表面が汚れている	★ゴムローラーの清掃をされていますか?	ゴムローラーの清掃をしてください。清掃方法は本書の14ページをご覧ください。
フィルムが排出口から出てこない	★ラミネートフィルムが本体内に詰まっています。	直ちに電源スイッチを切って電源プラグを抜いてお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。 ご不明の点は当社ヘルプデスクまでご連絡ください。

■製品仕様

商品名	ラミパッカー　CLIVIA A3
最大ラミネート幅	335mm(A3サイズ)
最大ラミネート厚	0.6mm(フィルム厚含)
対応フィルム	100〜150ミクロン(フィルム片面厚)
ラミネート速度	430mm/分(50Hz時)/510mm/分(60Hz時)
ウォームアップタイム	約5〜10分
電源電圧	AC100V(50/60Hz)
消費電力	520W
本体サイズ(mm)	534(W)×195(D)×120(H)
本体重量	5.8kg

※ウォームアップ時間は周囲の温度や設定温度により差が生じる場合がございます。
※製品仕様は予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

MEMO